



SHOSHINだより

発行:SHOSHIN本部 〒2520804 藤沢市湘南台1-14-4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com

9月4日(火) 後期授業スタート

SHOSHINの後期授業は、九月四日(火)からスタートします。

後期授業では、通常授業の他に、中学三年生を対象にした「中三補習クラス」、十一月二十六日(月)からスタートする「入試直前選択講座」、「テスト&チェック」、六年生を対象にした「受験校別演習講座」、「弱点克服道場」、「公立受検演習講座」、「理社演習講座」、「記述対策講座」などの特別講座が行われます。

月例テストも、中学三年生は模擬テスト(七月から)を実施します。また、前期に引き続き父母面談や相談会(懇親会)などを実施し、ご家庭との連絡を密にするともに、各種の情報も提供していきます。

中三入試直前選択講座

中学三年生は、後期中間テストが終了しますと、すぐに内申点が確定し、本格的に受験校の絞り込みが始まります。SHOSHINでは、このような中学三年生をサポートするために、十一月二十六日(月)から二月十四日(木)まで、「入試直前選択講座」を実施します。

この「中三入試直前選択講座」では、通常の授業形態を廃止し、入試までの三ヶ月を各生徒が自由に科目や単元を選択して受講できるようにします。

年内は、基礎力の充実と苦手科目の克服を狙った授業が行われます。したがって、基礎的な事項の確認や演習中心の授業になります。毎年、速度の速い授業が行われますので、しっかりと予習や復習が必要になります。

さらに、この講座は、冬休み講習会を経て、いよいよ本番に向けて仕上げの段階に入っていきます。したがって、授業も実践形式やテスト形式のものが多くなっていきます。

それまで身につけてきた基礎力をどこまで自己の得点アップにつないでいくことができるか。あるいは、それまでの勉強で見つかった苦手科目や単元をどこまで克服していくことができるか。合格に向けての最後のチェック期間になります。

この選択講座が行われる期間、授業もほぼ毎日のように組まれます。自分の勉強のスケジュールをしっかり組んで臨んでください。

中三補習クラス

九月十五日から十一月二十四日までの毎週土曜日に、中学三年生を対象にした補習クラスがスタートします。このクラスでの授業は、「入試直前選択講座」につながる大事な補習授業になります。

【科目】 国語 古文、説明文の読解 数学 実践演習問題 英語 英作文

【時間】 三時四十分～四時四十分(国語) 四時五十分～五時五十分(数学) 六時～七時(英語)

※ 詳しい内容については、「中三補習クラスのご案内」をご覧ください。

中二、中一発展クラス

九月十二日から来年の二月二十七日までの毎週水曜日(講習会期間を除く)に、中学二年生と中学一年生を対象にした発展クラスの授業がスタートします。

【科目】 英語・数学

【時間】 七時五十分～八時四十分 八時五十分～九時四十分

中三模擬テスト

中学三年生の月例テストは、新教育の「W合格もぎ」を実施します。すでに七月からスタートしていますが、講習会テストを含めて計六回の実施となります。テスト日が日曜日になる月もありますので、「年間スケジュール」でご確認ください。

全国統一小学生テスト

十一月四日(日)には、「全国統一小学生テスト」が行われます。六月三日(日)に実施されました。



た前回のテストでは、全国で八万五千五百十八人の生徒が参加し、関東地区からも四万四千八百六十七人の生徒が受験しました。学年別でも、小学二年生が一万三千六百八十二人、三年生が一万九千六十八人、

四年生が二万四千五百五十九人、五年生が二万八千二百九人と、まさに全国規模のテストになりました。

SHOSHINでも、六月に行われたテストでは、在室生を含め百名以上の小学生が受験してくれました。十一月には、もっとたくさんの方の受験生で会場が埋め尽くされるのではないのでしょうか。

また、このテストは、「さあ、競争だ。」をキャッチコピーに、子どもたちが互いに競い合うことで、

子供の「転んでも起き上がる精神」を鍛え、遅く生きた力をつけて、未来のリーダーを育成することを目的に行われます。

詳細につきましては、後日お知らせ致します。



合格まつり

十一月四日(日)には、毎年恒例の「SHOSHIN合格まつり」が行われます。



今年も楽しいイベントがたくさん催されます。焼きそば、焼き鳥、チョコバナナのコーナーでは、毎年、長蛇の列ができます。また、「おはなしの部屋」や「手品」や「ゲーム」など、小さなお子様が楽しめるコーナーも用意されています。

秋の一日、近所の方も誘いの上、ぜひお出かけください。

なお、祭りを手伝ってくださる卒業生も募集しています。

みなさん、会えるよい機会ですので、ぜひご連絡ください。



のびる

八月の教室行事としては、六年生を対象とした三泊四日の勉強合宿と、五年生までを対象とした社会見学会を実施しました。

▼合宿は伊豆天城で行いました。それほど遠く離れた地でないこと、涼しく静かな環境にあること、そしてなによりも、送迎のバスを手配してくれること、これらの利点が伊豆天城山荘を合宿先に選んだ理由です。実際に利用してみても、予想以上に充実した設備が整っている中で、山荘スタッフの皆様から心もったおもてなしを受けました。

合宿に参加した生徒たちも、素晴らしい環境の中で皆十分に勉強できました。楽しい行事も取り入れ、予定通りに進んだ今回の合宿は、大きな成功だったと私たちは感じています。▼社会見学会は八ヶ岳にある国立天文台野辺山を訪問しました。国立天文台では、年に一度特別公開日をお設けており、その日に合わせて社会見学会を実施しました。日頃は見ることもできない45メートル電波望遠鏡の内部や電波ヘリオグラフィ観測室をこの日に限り見学できます。

合わせて、スタンブラリーなどもあり、参加した生徒たちは興味を持って、楽しく見学できたことと思います。▼勉強合宿はともかく、社会見学やピクニックを行う進学塾はそれほど多くはないと思います。進学塾が勉強合宿を行う理由や目的はつきりしていません。ですから、特に大手塾では勉強合宿を行うところが多いようです。

一方で、社会見学やピクニックを行う必要性は進学塾にはそれほど無いように思えます。このことが、実施塾が多くない理由なのでしょう。▼ではなぜ、当教室ではこれらの行事を行っているのでしょうか。「いろいろな経験をしてほしい。」「友達や先生との仲をもっと緊密にしてほしい。」「等々、理由付けはいくらでもあります。そしてこれらは主観的にも客観的にも正しく、そうなることを期待してはいます。しかし、根源的な理由は、こんな計算しつくされたことではなく、もつと単純なのです。」「ああ、これを子どもたちに見せてあげたいな。」「あるいは「ここに子どもたちを連れて来たら喜ぶだろうな。」「こんな気持ちから実施しているに過ぎません。ちよと、親がご自分の子どもに抱く感情と同じです。ただし、当教室実施の場合、ご家庭ではなかなか連れて行けないところと、お金のからならないところ限定しています。▼何百人という生徒を合宿に参加させれば塾としては利益が出ます。しかし、十人前後の生徒をどこかに連れて行っても利益は出ません。それどころか、たいした額ではないにしても行事のたびに足が出るのが現状です。しかし、行事に参加した子どもたちが喜んでくれ、その喜んだ姿を見ることができれば、それで満足なのです。▼当教室が社会見学やピクニックを伝統的に行っているのは、このような発想からです。思えば、バカな進学塾です。こんな私の想いに心から賛同してくれ、無報酬で協力してくれている同僚には、いつも感謝しています。(舟本)

